<北海道支部>

２０１９年度日本鉄鋼協会・日本金属学会両北海道支部合同冬期講演大会並びに講演募集のお知らせ

拝啓

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。さて、両支部共催の標記講演大会を下記要領により開催いたしますので、会員各位のご講演申込み並びに活発な討論の機会となりますよう多数のご参加をお願い申し上げます。

敬具

記

１．開　催　日　時：　２０２０年１月１６日（木）、１７日（金）

２．会　　場：　札幌市教育文化会館　301・302 研修室

〒060-0001 札幌市中央区北 1 条西 13 丁目　TEL 011-271-5821

３．共　催・協　賛：　[共催]本多記念会

[協賛]日本鋳造工学会北海道支部、軽金属学会北海道支部

４．参加・講演発表

申込み方法　：参加希望者は、別付１の申込書に明記の上、下記宛先まで電子メールにてお申込み下さい。

講演発表希望者は、別付１の申込書に明記の上、講演概要原稿と共に下記宛先まで電子メールにてお申込み下さい。、講演概要原稿は Microsoft Word で作成し、Word 形式のファイルと PDF 化したファイルの双方をメールに添付してお送り下さい。また、提出原稿はそのまま製版する方法をとりますので、別紙１を参考にしてご作成下さい。受付後に受理の返信メールを差し上げます。

****

宛先

日本金属学会北海道支部事務局　能村　貴宏

TEL：011-706-6842

e-mail：jim_hokkaido@eng.hokudai.ac.jp

＊電子メールの件名は下記で統一お願い致します。

「２０１９年度日本鉄鋼協会・日本金属学会両北海道支部合同冬期講演大会」

****

５．学 生 表 彰　：創意工夫にあふれる講演を行い的確な質疑応答を行った優秀な学生に対して鉄鋼支部・金属支部それぞれから「奨励賞」が授与されます。

希望される学部生、院生諸君は申込書 4.表彰欄に必要な情報を明記して下さい。

６．一 般 表 彰　：若手技術者・研究者(発表日に 35 歳未満・学生は除く)の優れた研究発表に対して表彰を行います。希望される方は申込書　4. 表彰欄に応募者氏名、年齢を明記して下さい。

７．講演発表　　**申込み締切日　：２０１９年１１月２９日（金）必着**

講演申込みと講演概要原稿提出締切日は同一日ですのでご注意願います。

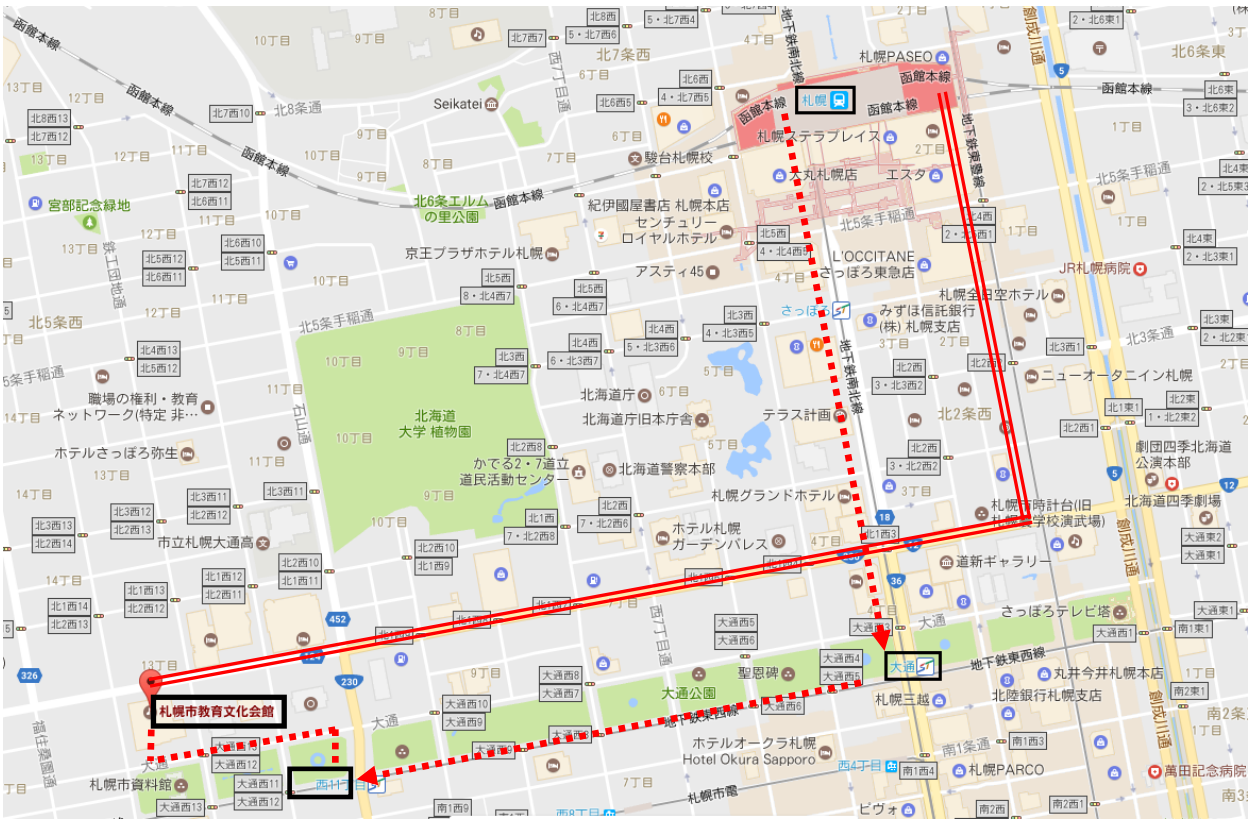
８．参　加　費　：当日会場受付にて、お一人 1,000 円の参加費を申し受けます。
（ただし、聴講のみの学生は無料（概要集は無し））

９．交　流　会　：初日の講演大会終了後、交流会（懇親会）を開催いたします。交流会への出欠の可否を申込書に記載いただきますようお願い申し上げます。
参加費（一般 3,000 円、学生 2,000 円）は講演大会初日に受付でお支払い下さい。
（ただし、講演発表を行った学生は無料）

１０．そ　の　他　：講演時間は１件 15 分（発表 10 分、質疑応答 5 分）とし、
内容は、研究・実験 に限らず技術的なものも歓迎します。
なお、連続発表は２件までとします。

2019年度冬期講演大会 会場案内図

講 演 会 場：札幌市教育文化会館
A会場：3階301研修室　B会場：3階302研修室
交流会会場：講演会場に同じ



※交通案内 ■JR札幌駅 徒歩25分

■JR北海道バスまたは札幌市中央バス

札幌駅前バスターミナル（JR北海道バス　５，６番乗り場、札幌中央バス　１番乗り場）乗車→北1条西12丁目下車→徒歩１分

■札幌市営地下鉄、徒歩5分

札幌駅乗車→大通駅乗り換え→西11丁目駅下車→徒歩５分

別紙１

支部講演会講演概要作成要領

１．講演概要原稿は、Microsoft Word で作成し、Word 形式のファイルと PDF 化したファイルの双方をお送り下さい。
２．表題は２行も可能です。ただし、必ずセンタリングして下さい。
３．表題と所属、氏名は１行空けて下さい。所属は通常使用される略称でもかまいません。
４．講演者には○印及びふりがなをふってください。右詰めとします。所属、氏名と本文の間は１行空けて下さい。
５．本文は出来るだけ〔目的〕、〔方法〕、〔結果〕に分けそれぞれの間は改行して下さい。
６．図、写真は、必要に応じて入れることが可能です。ただし、小さくなりすぎないよう注意して下さい。
７．結果を明記するように心がけて下さい。くれぐれも「結果は、当日報告する。」としないようにお願いします。
８．電子メールで申し込まれる際、システムの都合上 1MB 以上の添付ファイルは受け付けることが出来ません。また、整理の都合上ファイル名が他の講演者と重ならないよう講演者名等を使いユニークなものとなるようご協力をお願いします。下記に講演概要原稿のテンプレートを示します。

ナノ粒子の自己組織化に関する研究

北大院　○北海太郎（ほっかいたろう），室工大　北海花子

［目的］フォントは、明朝体あるいはそれに準ずる書体を用い、本文のサイズは 10.5～12 ポイント程度、表題は 12～14 ポイントとして下さい。表題は、センタリングを、所属、氏名は右詰めでお願いします。

［方法］ A4縦で、左マージン 25mm、右マージン 20mm に設定し縦 120mm、横 165mm の中におさまるようレイアウトして下さい。

［結果］図表や写真はキャプションや凡例が小さくなりすぎないように注意して下さい。写真は鮮明なものをお願いします。